



手話サークル研究班



～ 「手話」は聴覚障害者にとって大切な言葉です ～

～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がることと、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。手話に関わる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」ということが大切だと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいく「手話に学ぶ場所」だと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

2004年4月、9名のメンバーで発足。

神通研集会・分科会「手話サークル」の運営を担当。

その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

2009年11月現在、川崎2、横浜5、県域11 計18名で活動中!!

講演会「夢は叶う」

09 12月6日(日)開演 14:00~16:30 会場 13:30

川崎市総合福祉センター(JR南武線 武蔵中原駅 徒歩1分)

講師: 佐々部清氏(日本アカデミー賞受賞映画「半落ち」脚本・監督)

参加費: 当日券1200円

お問合せ先: FAX 044-752-5559

当事者運営準備委員会

～ '09 神通研集会報告 ～

「サークルに規約・会則がありますか?
それに沿った活動がなされていますか?」

<第1グループ>

ある

- ・ろう者・聴者が互いに理解を深める
- ・ろう者と聴者の交流が1番の目的
- ・ボランティア活動をする
- ・ろう者に情報提供をする
- ・役割分担、会費、目的、ろう協へ協力、

わからない

- ・目的は交流だと思うが、ほとんどが学習会になっている
- ・ろう者なのでわからないが、ろう者と聴者が交流を深めている。サークルでは、声禁止、携帯禁止、ボランティアを行う等、年に1~2回説明会を行っている

その他、意見

- ・会則はあるが、みんなが理解しているかどうかはわからない。手話学習だけが目的になっていて、本来の目的をどう伝えていけばよいか悩んでいる。
- ・会則は大枠で、学習や交流の方法等は、みんなが話し合っ決めていくと良い。

<まとめ>

規則があるところは現状に合わせて見直していく。
ないところは、活動に応じて作っていく。

～ 定例会 '09/10/25(日)～

神通研集会も終わり、ホッと一息。大きな行事が終わり、メンバー同士の距離がグッと近づく・・・「サークル研究班で、いいなあ・・・」と思える瞬間です。

早速、反省会を行いました。今年の反省を来年に生かし、分科会をより楽しめるものにしていきたいと思います。助言者の言葉にあったのは、「同じ考え方をもち続けていくものと、どんどん変えていけば良いものがある」ということ。今までこうだったから・・・ではなく、今後どうしたら・・・の視点は大切ですね。

11/14~15、栃木県鬼怒川市で開催される「関東通研集会」の組み立ても行いました。関東のみなさんとお会いできることを楽しみにしています。

【次回定例会】

11/22(日) 13:10~15:00

県民サポートセンター 701

～サークル研究班メンバーのささやき～

秋、真っ盛りのいま、何を見てもおいしそう!なんて思う私はへんかしら?

でもこの歳(内緒)での食欲の秋は問題も多く、素直に喜べないのです。どんなに食べても太らなかった頃が懐かしい!これ以上食べたら体重が・・・!なんて思いつつ、自分と葛藤しながら食べてしまう意思の弱い私です。

来年からはスポーツの秋をプラスして秋を楽しもうと思いつつ、今日もまた食べ過ぎてしまった私です。

やまと姫